

CHECK!

歳入歳出の決算状況

区分 会計別	歳入決算額		歳出決算額		歳入・歳出 差引額 (3)=(1)-(2)	翌年度に 繰り越すべき 財源(※) (4)	実質収支額 (3)-(4)
	(1)	(2)	(1)	(2)			
一般会計	500億3,980万	494億9,063万	5億4,917万	1億1,323万	4億3,594万		
特別会計	国民健康保険事業	177億3,094万	172億9,419万	4億3,675万	0	4億3,675万	
	後期高齢者医療事業	25億9,983万	25億2,740万	7,243万	0	7,243万	
	農業共済事業	805万	805万	0	0	0	
	介護保険事業	112億4,748万	110億7,785万	1億6,963万	0	1億6,963万	
	用地先行取得事業	32億3,171万	32億3,162万	10万	10万	0	
	中央北地区 土地区画整理事業	27億2,047万	26億5,030万	7,017万	7,017万	0	
	特別会計合計	375億3,847万	367億8,940万	7億4,907万	7,027万	6億7,881万	
一般・特別会計合計	875億7,827万	862億8,003万	12億9,824万	1億8,350万	11億1,474万		

端数処理のため、各項目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります  
※27年度に繰り越す事業に充てるための財源のうち、26年度に収入済みのもの

26年度の歳入歳出決算状況は、一般会計の歳入が500億3,980万円、歳出が494億9,063万円となっており、実質収支額は4億3,594万円の黒字となっています。特別会計の合計を見ると、歳入が375億3,847万円なのに対し、歳出が367億8,940万円となっており、実質収支額が6億7,881万円の黒字となっています。

まずは会計別で歳入と歳出をチェックよ!

POINT!

会計を分ける理由は?

市ではさまざまな事業をしています。そのため、収支が複雑化しないように財布を分けて、お金の使い道を区別しています。一般会計は基本的な事業を行う会計、特別会計は国保など特定の目的の収支を区分するための会計です。

1 LESSON

決算の要旨を学ぼう

決算は難しい!?

**先輩** 後輩くん、決算の勉強してんだ!  
**後輩** そうなんです。でも、数字が苦手で、財政についてはいまいち理解できないんですよ。「決算」って言葉を聞くだけで、なんだか苦手意識を感じてしまいます。  
**先輩** そう感じる人も多いからね。ちよんどの機会だし、今から、昨年度の財政事情について勉強しましょうか。決算の見方が分かれば、川西市の現状も見えてくるし、これからの仕事にもきっと役立つはずよ。  
**後輩** ありがとうございます!

26年度の決算状況は?

**先輩** 後輩くんは決算って何か分かるかな?  
**後輩** はい! 1年間の収入と支出を整理して、明らかにするんですよね。  
**先輩** その通りよ。まずは上の表を見てくれる? これは26年度の歳入歳出の決算状況を示したものだね。市の会計は、一般会計と特別会計に分かれているの。それとは別で、水道などの利用者からの収入を元に事業をする公営企業会計もあるのよ。公営企業会計について詳しくは14・15ページを参考にしね。  
**後輩** 一般会計と特別会計のどちらにも黒字だったことですね。  
**先輩** そうよ。ちなみに、前年度も全ての会計が黒字だったの。  
**後輩** そうなんです! あと1つ疑問に思ったんですが、特別会計は事業別に分かれてますけど、一般会計ではどんな事業をしているんですか?  
**先輩** それなら、次は一般会計の中身について勉強しましょうか。



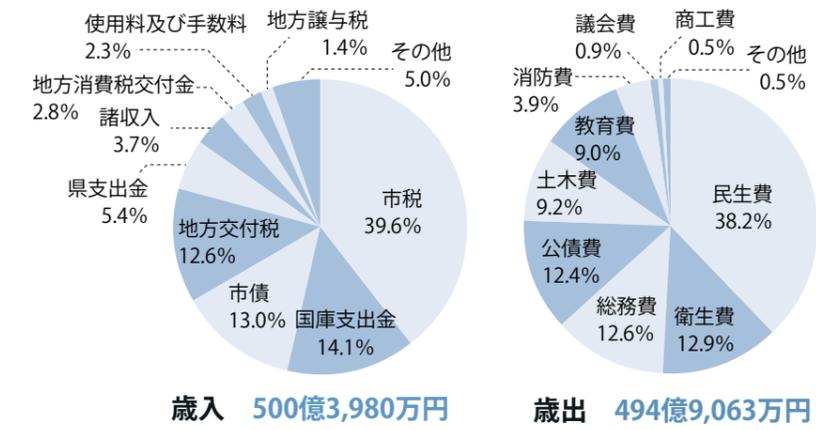
後輩くんのために、先輩さんが特別授業!  
財政セミナー

しっかり者の優しい先輩さんと少しおっちょこちょいな後輩くん。数字が苦手な後輩くんのために、先輩さんが決算の特別セミナーを開講するようです。今の財政状況や今後の展望など、2人のやりとりを少しのぞいてみましょう。詳しい内容については財政室TEL(740)11300へ。

LESSON 2

## 一般会計の中身を学ぼう

昨年ほどんな事業をしたの？  
先輩 左の円グラフは一般会計の歳入と歳出の内訳を示したもののよ。歳入の合計額は500億3980万円。約4割は市税が占めているわね。歳出の合



計額は494億9063万円となっているの。  
後輩 民生費？衛生費？すみません、勉強不足で。難しい言葉が多くてどんな事業が行われたのか、これだけではなかなか分かりづらいです…。  
先輩 そう言うと思ったわ。それなら、下の表を見て。これは、一般会計の歳出の中身を例として示したもののよ。  
後輩 継続的に行う事業だけではなく、「病後児保育事業」や「健康マイレージ」など、新しい事業もたくさんしているんですね。それに、市民1人当たりの決算額も算出されているからイメージしやすいです。  
先輩 合計すると1年間で1人当たり、30万8300円が使われたことになるのよ。  
後輩 公債費っていう区分があります。これって借金をしてることなんですよ。財政状況は大丈夫なんですか？  
先輩 一番気になるのはやっぱりそれよね。じゃあ、財政健全化判断比率を見ながら財政状況を見てみましょう。

# CHECK!

## 一般会計歳出の内訳

区分	決算額	1人当たり	事業内容	主な事業や新規事業(例)
民生費	188億8,547万円	11万7,600円	福祉サービスの提供など	保育所運営、生活保護病後児保育事業の開始
衛生費	63億7,198万円	3万9,700円	保健・医療や環境対策など	ごみの分別収集 健康マイレージの開始
総務費	62億5,178万円	3万8,900円	文化・スポーツ・地域振興など	スポーツ・文化施設の運営 アーティストオーディションの実施
公債費	61億2,291万円	3万8,100円	市債の返済	借入金の返済
土木費	45億5,013万円	2万8,300円	道路や市街地の整備など	道路と公園の維持、改良 新名神高速道路整備に伴う対策事業
教育費	44億6,448万円	2万7,800円	小中学校教育、生涯学習など	図書館の運営 学校・幼稚園の耐震化
消防費	19億 882万円	1万1,900円	消防や救急、防災対策など	災害用物資等の備蓄 消防署(久代出張所)の建て替え
議会費	4億6,742万円	2,900円	議会の運営・議員報酬など	市議会の開催・運営
商工費	2億3,167万円	1,400円	商業・観光振興	商業団体・イベントの補助、花火大会の開催
その他	2億3,595万円	1,500円	農林業振興、就労支援など	有害獣対策、職業相談・紹介
合計	494億9,063万円	30万8,300円		

上表は一般会計の歳出の例を示したものです。区分ごとの事業内容と26年度に行われた事業、決算額について表しています。さらに、市民1人当たり(27年3月末人口で換算)の歳出額も算出しています。

なるほど！  
事業内容が分かるとイメージしやすいですね



LESSON 3

## 現在の財政状況を知ろう

POINT!

実質公債費比率 収入に対してどれだけ借入金の返済にあてられているかの比率  
将来負担比率 財政規模に対して現在抱えている負債の大きさの比率

## 財政健全化判断比率の推移

「実質公債費比率」「将来負担比率」の2つの指標で財政の健全性を示しています。早期健全化基準を超えた場合、財政の健全化に取り組むこととなります。

年度	21	22	23	24	25	26	早期健全化基準
実質公債費比率	10.9	11.0	11.4	11.7	12.3	11.9	25.0
将来負担比率	163.7	159.2	160.9	152.6	147.3	133.4	350.0

気になる財政事情は？  
先輩 財政健全化判断比率とは、財政の健全性を示す指標のことよ。早期健全化基準を超えると、財政の健全性が危ぶまれている状態にあるということなの。上の表では、指標の中から、「実質公債費比率」と「将来負担比率」を抜粋して示しているわ。どちらも早期健全化基準を下回っているわね。  
後輩 推移によると、どちらの比率も前年度と比べて減少しているってことですよ。  
先輩 その通りね。これまでは、収入に対して借金の返済に充てなければならぬ割合が上昇しつつあったの。でも、昨年1年間の返済額が減ったから、実質公債費比率の数値も減少したのよ。また、将来返済する公社や第3セクターへの負担など、市の負債は年々減っていく傾向にあるから、将来負担比率も減少しているのよ。  
後輩 将来への負担も少なくなっているということは、今のところ川西市の財政は安心していいことですね。なんだか、ほっとしました。

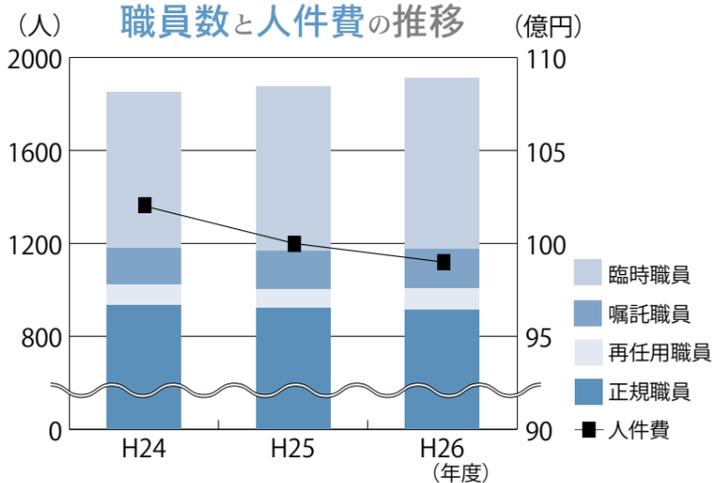


な、なんですと〜!!

財政状況は大丈夫なんですわ  
少し安心しました

安心するのは早いわ  
実は今後がどうなるかは  
まだ分からないの…

## LESSON 4 これからの財政を考えよう



**後輩** このままだと、これからのういった経費も必要となってくるということなのよ。

**先輩** 厳しいんですね。基金残高も減ってきているようすし。これって市の貯金のようなものですよ。

**先輩** そうね。この貯金は施設整備などに掛かった借金の返済や、収支バランスを取るためにも使っているから、何もしなければ減少していく一方なのよ。

**改善に向けてできることを**



財政状況は良くなるらないですよ? ね?

**先輩** そうね。だからいろいろな対策をしているのよ。例えば左上のグラフを見てもらえば分かるように、人件費は着実に減少しているの。

**後輩** なるほど。人員の配置も工夫しているから、職員数全体としては減ってないですね!

**先輩** そうよ。さらに前年度は新たに、電力自由化に伴う入札の導入や、市有地の売却・貸付に取り組んで、合計約6000万円改善



することができたのよ。それと今年、街路灯のLED化にも取り組んでいるの。これからも引き続き、いろいろなアイデアを考えていくわ。

**後輩** 先のことも見越して、着実に改善に取り組んでいるんですね。

**先輩** 今日の特別セミナーはこれで終わりよ! 少しは財政事情が分かったかな?

**後輩** もちろんです。ありがとうございます。よーし、なんだかやる気になってきたぞ!

### 安定した財政基盤の確立を

して市政運営に従事していかなければなりません。

市政の基盤を支える財政状況は、レッスンでの"先輩さん"の説明の通り、現在は危険な状況にはありませんが、税収の伸び悩み・歳出増加の傾向が続いており、このままで将来も安心とまではいえません。収支改善に向けてこれまで以上に工夫をし、将来にわたる安定した財政基盤を確立していきたいと思っています。



これからの地方自治体は、国が示した地方創生の長期ビジョンや総合戦略に基づいて、固有の特性や環境を見つめ直し、独自の資源をより有効に活用していくことが求められています。

本市でも、今年度から、その一環として地域の魅力発信や地域分権の推進などの取り組みを強化するとともに、本市独自の人口ビジョンと総合戦略を策定中です。今後は、職員一人ひとりが、これまで以上に知恵を出し、工夫を凝ら

**後輩** あれ? 財政健全化判断比率によると、川西市の財政状況は問題なかったですよ?

**先輩** そうなんだけど、今は大丈夫でもこれからは安心とは限らないのよ。

**後輩** 今後のことを知るには、どんな要素を見て、考えればいいんですか?

**先輩** そうよね。じゃあ次は、未来の財政状況について考えてみましょう。市税収入と主な基金残高、扶助費、普通建設事業費の最近の推移について、下にグラフで示しているわ。後輩くんはこれを見て何か気付いたことはない?

**後輩** 市税収入が21年度に比べると大きく減少しているんですね。

**先輩** 市税は大きな収入源の一つなんだけど5年前に比べると減少しているの。年によって若干の差はあるけど、これから増加するとは考えにくいわ。

**後輩** もしかして、少子高齢化が原因ですか? 川西市も高齢化率が高いって聞くし...

**先輩** それも一つの要因ね。市税

今後の状況はどうなるの?

の中で大きな割合を占めるのは、市民税なの。働いている人たちが減っているから、個人市民税が減少しているのよ。それに、川西市は企業が少ない住宅都市だから、これから法人市民税が増加することも見込めないわ。

**後輩** それに比べて、扶助費は増えてますね。普通建設事業費も最近が多いようです。この2つのグラフからは、どんなことが分かるんですか?

**先輩** 扶助費は、福祉や医療など、市民の生活基盤を支えるものなの。普通建設事業費では今後古くなった施設の改修も必要となってくるわ。歳入は増えないのに、こ

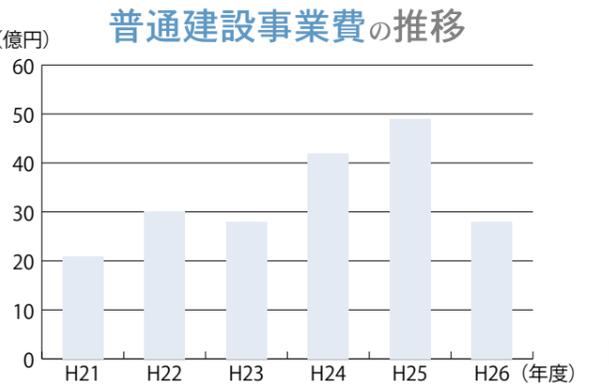
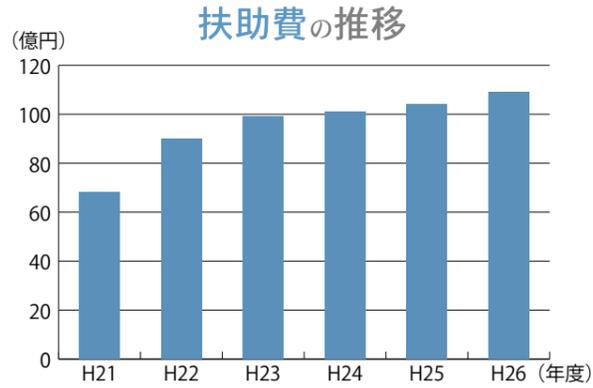
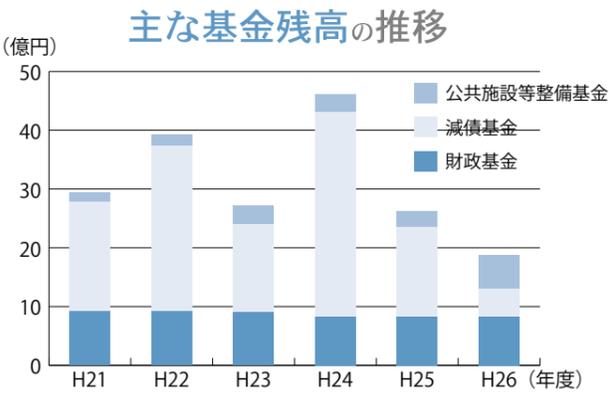
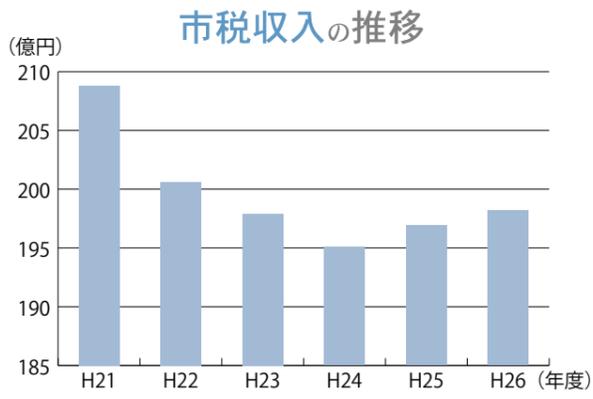
### POINT!

**扶助費? 普通建設事業費?**

**扶助費** 高齢者や障がい者への医療費助成や児童手当、生活保護など多くの市民の生活基盤を支える経費。

**普通建設事業費** 道路や公園、学校、公営住宅など、インフラや施設の整備に要する費用。

## CHECK!



歳入は増えないけど、生活基盤を支えるための経費は必要。難しいな〜

